

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

June / 12 / 2020 # 87

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『再開へ向けて』

[2] Pepeのひとりごと

『エチュード』

[3] おすすめ動画

『Principal Trumpet Christopher Martin on the Post Horn Solo in Mahler's Symphony No. 3』

『Original Fantasy by Mantia - Brian Bowman euphonium』

[4] 演奏のヒント！

『スライド・テクニク（Trombone）』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『再開へ向けて』

6月に入り、世界中でコンサート再開への動きが顕著に見えてきましたね。国や地域によって状況が違うのでいろいろなのですが、世界中の音楽業界の人たちが必死で同じ方向を向いてがんばって動いているのを実感することができ、個人的には元気（前向きなエネルギー）をもらっています。:)

僕の所属しているオーケストラ、大阪交響楽団でも、昨日、一部の

楽団員でのミーティングがあり、今後の活動について話し合いをしました（3ヶ月ぶりにメンバーに会いました！）。

今月から日本国内でも、オーケストラの活動が再開し始めるようです。大阪交響楽団の再開のコンサートは7月中頃の定期公演となっているので、どちらかという遅めの再スタートとなります。

それまでに、いろいろなオーケストラの再スタートが切られる予定なので、それらのコンサートから得られるものをうまく活かし、聴きに來てくださる方たちが少しでも安心できる環境で演奏をお届けできれば、と思っています。

[2] Pepeのひとりごと

『エチュード』

日頃から、エチュードの練習は定期的にやるようにしているのですが、活動自粛になってからは、いつもに増して時間が取れるようになり、エチュードに割ける時間も増えてきました。

*この場合のエチュードとは、ウォームアップや音階練習などが書かれているいわゆる教則本（初心者用や、基礎練習のやり方などが載っているもの）ではなく、いろいろな調性やテンポの「曲」がいくつも載っているものを指しています（KoppraschやRochut、Arban'sなど）。

この「エチュードをさらう」こと、いろいろな捉え方があると思います。

かんたんに大きく分けると、ただ流すようにさらっていく方法と、しっかり吹きこなせるまで練習をする方法ですね。

エチュードにはいろいろな目的のものがあるので、上記の2つのどちらがいい、ということはいえないと僕個人は考えていますが、どちらの方法だとしても、自分の音楽技術の栄養にはなるべきだと僕は考えています。

ごくたまに、「エチュードなんて練習をしてもあまり意味がない」ということを耳にしたりもしますが（泣）、そういう捉え方をしている人は、きっとこれまで自分の栄養になるようなさらい方をやったことがないのかなあ、と思います（残念ながら）。

人前で演奏するわけではないエチュードを練習して、何の意味があるの？みたいなことを耳にしたこともありますが、これはすごく残念なことに感じます。

エチュードは、いろいろなもの（調やスタイルなど）をさらうことによって、自分の音楽性の表し方、表現の仕方などを手に入れるととてもいいトレーニングだと思います。

初見の段階である程度自分の音楽表現ができるようになれば、さらに突き詰める作業（音楽創り）に入るまでの時間も短縮できますし、さらに突き詰めていくこともできるようになります。

あと、他の人と一緒に演奏する場合も、共演者の音楽性を素早く受け取ること、理解することができるようになり、より良い音楽にもつながっていくと思います。

エチュードを練習することには、こういうメリットがあります。

ちゃんと目的意識を持って取り組むととてもいい効果が表れますので、興味のある人は、ぜひ積極的にやってみてくださいね！ :D

[3] おすすめ動画

『Principal Trumpet Christopher Martin on the Post Horn Solo in Mahler's Symphony No. 3』

<https://www.youtube.com/watch?v=X9hn22YfG48&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=34&t=0s>

今月の1つ目の動画は、New York Philharmonicの首席Trumpet、Chris (Martin氏) の演奏するG.Mahlerの交響曲第3番のポストホルンのソロです。

個人的にMahlerの曲の、あの素朴で純粋な感じのするメロディーは大好きなのですが、このソロもとってもいいですよねえ（特に、彼のこのとても自然な演奏スタイルで聴くと！）。 :D

このソロは、実際にポストホルンで吹くことのほうが少ないようで、多くの場合、フリューゲルホルンで演奏されるようです（音程などがしっかりとしたポストホルンがあまりないのが理由だと思います）。

この動画ではTrumpetで演奏していますが、きっと手元にフリューゲルホルンがなかったのかなあ、と思われます（笑。ロックダウン中の自宅での動画です）。

彼の自然な演奏スタイル、いいですよねえ。 :D

先日、New York Philharmonicは、2021年1月頭までの全てのコンサートのキャンセルを発表しました。

10ヶ月もの間、オーケストラとして演奏しないという前例のない事態となっていますが、僕たちファンを含め、すべてのミュージシャンが安全に、安心して過ごせられることを願っています。

『Original Fantasy by Mantia - Brian Bowman euphonium』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=I20vPazje8E&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=38&t=0s)

[v=I20vPazje8E&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=38&t=0s](https://www.youtube.com/watch?v=I20vPazje8E&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=38&t=0s)

2つ目の動画は、Euphonium界の昔の貴重映像を。 ;)

Brian (Bowman氏) の演奏で、E.Picchi作曲の「Fantasie Originale」です。

Brianといえばスイスの楽器メーカー「Willson」の顔をしてもう長年君臨していますが、このときはBessonで演奏しています（まだWillsonがEuphoniumを作る前なのかな？）。

1975年8月のコンサートのライブ映像です。

こういうものが簡単に観られる、いい時代となりましたね。 ;)

・・・今気づいたのですが、今月は先月と同じBrianとNew York Philharmonicの動画となりました（笑）。全く意図していなかったのですが、あまり変化がなくてごめんなさい・・・。

[4] 演奏のヒント！

『スライド・テクニック (Trombone) 』

*今回は、Euphonium奏者にとっては関係のない内容になっています。ごめんなさい。

前回はEuphonium吹き用の運指についてだったので、今回はTrombone吹き用のスライド・テクニックについて書きますね。

今のこのような状況になり、以前に比べていろいろと動画を観る時間が取れるようになりました。

僕は、いつも演奏の動画を観るときにはいろいろな身体の動きを観察するクセがあるのですが（金管楽器だけでなく、弦楽器奏者のときにも）、もちろんTrombone奏者の動画を観るときにはスライドの動かし方にも意識がいきます。

世の中、いろいろなスタイルのスライドの動かし方がありますよねえ。

「正しいものはこれ！」というものはないと思いますが、いろいろな

ものを知るといことはとても大切だと思います。

僕は、それなりの自分のスタイルというものはできていて、それがベースになっていると思うのですが、いろいろな新しい情報を手に入れて、いいところ、少し自分で試してみたい効果のあったものは積極的に取り入れるようにしています。

自分ですべて把握、自覚していることはないのですが（笑）、きっと活動自粛に入る前と今とでは、いろいろな面で些細な変更があると思います。：)

みなさんも、いろいろなものをまずは知り、興味のあるものはぜひ自身で試してみてください！

そして、いいものはとりあえず取り入れてみましょう。

そういうことを繰り返すことによって、「自分のスタイル」というものが出来上がってくるのだと思います。

最後に、スライド・テクニックの大切なポイントは、

"As late as possible, as fast(quick) as possible"

「なるべく遅く、なるべく速く」

です。

スライドを動かし始めるタイミングはなるべく遅く（今演奏している音のポジションになるべく最後までいる）、そして動かすときにはなるべく速く！です。

これをぜひ頭の中に「常に」入れて、練習してみてくださいね！

編集後記

全国的に梅雨入りをしてきましたね。

僕の大の苦手な湿気との戦いの日々が始まったわけですが、オーケストラはまだ活動が再開できていないため、基本的には「Stay Home」が続いています。

なので、この湿気でただでさえ息苦しい中、マスクを付けて外に出る機会も少なくて助かっています。：)

この活動自粛期間にやりたいことを3月から始めているのですが、当初心配していたように、やりたいことが多すぎて、順調に進んでいるものもあれば、全くと言っていいほど進んでいないものも

ある状態です。

今月からESA音楽学院でのレッスンが始まり、これまでのように自分のためだけの時間が段々と少なくなっています。
焦らず、優先順位を適宜見定めながら上手に過ごしていこうと思っています。

みなさんも、体調には気をつけながら、気分よく過ごしていく工夫をして、この苦しい時期を乗り越えていきましょうね！！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>